



- User-oriented Medicinal Product & Service Developer -

総医研ホールディングス

(2385 東証マザーズ)

2018年6月期決算説明会
(2018年8月21日)





総医研グループ

売上比率

(株)総医研ホールディングス

100%

(株)総合医科学研究所

- （「疲労・癒し」を主とする）バイオマーカー開発および臨床評価試験
- 医薬品の臨床研究支援
- （特定健診・特定保健指導を主とする）ヘルスサポートサービス

2.8%

5.4%

5.2%

100%

(株)ビービーラボラトリーズ

- 化粧品製造販売

30.6%

98.2%

(株)エビデンスラボ

- エナジードリンク「BATTERY」販売

43.9%

100%

日本予防医薬(株)

- 健康補助食品等の販売
 - （抗疲労ドリンク「ミダパップル」等）

66%

(株)ウィルス医科学研究所

- ウィルスを利用した疲労等のバイオマーカーの研究開発

84.6%

(株)NRLファーマ

- ラクトフェリンを中心とする機能性素材の研究開発、販売、技術供与

12.0%



～ 2018/6期決算～

2018/6期決算の概況 I

❑ 健康補助食品事業

- 第1四半期に積極的に展開した広告宣伝活動の効果もあり定期購入顧客が増加したこと等から、前期比20.4%の増収。
- 第4Qに「イミダペプチド」のテレビ露出等もあり広告の反応率が向上したことを受け、広告宣伝費を計画よりも増額して投下したこと、主に第4Qに獲得した新規顧客にかかる初回購入者限定の割引および送料無料の適用による先行費用が生じたこと等から、営業利益は微増。

	当期	前期	増減
売上高	2,397	1,997	+399
営業費用	2,190	1,799	+391
売上原価	827	695	+132
販管費	1,363	1,104	+259
営業利益	207	198	+8

2018/6期決算の概況 Ⅱ

□ 化粧品事業

- ヒット商品「PHマッサーシゲルPro.」の勢いが「モイストクリームマスクPro.」等にも波及。越境EC向け商品の販売が伸び、前期比22.0%の増収。営業利益は前期比39.2%の増益。

	当期	前期	増減
売上高	1,668	1,368	+300
営業費用	1,356	1,144	+212
売上原価	701	484	+217
販管費	655	659	△ 4
営業利益	312	224	+88

□ 機能性素材開発事業

- 2017年6月に(株)NRLファーマを連結子会社化。連結損益計算書には当期より連結。



2018/6期決算（連結）

（単位：百万円）

	当期 (2018/6)	前期 (2017/6)	増減	増減率
売上高	5,455	4,147	+1,308	+31.5%
（評価試験事業）	(151)	(210)	(-59)	(△ 27.9%)
（バイオマーカー開発事業）	(0)	(0)	(0)	-
（医薬臨床研究支援事業）	(296)	(320)	(-24)	(△ 7.6%)
（ヘルスケアサポート事業）	(285)	(256)	(+29)	(+11.1%)
（化粧品事業）	(1,668)	(1,368)	(+300)	(+22.0%)
（健康補助食品事業）	(2,396)	(1,989)	(+407)	(+20.4%)
（機能性素材開発事業）	(655)	(-)	(+655)	-
（全社）	(2)	(2)	(+0)	-
売上総利益	3,122	2,461	+661	+26.9%
営業利益	325	264	+61	+23.1%
経常利益	340	271	+69	+25.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	197	186	+11	+6.1%
研究開発費	117	42	+75	
（内疲労関連）	(31)	(27)	(+4)	
（内化粧品）	(6)	(15)	(-9)	
（内機能性素材開発）	(79)	(-)	(+79)	

→ 連結売上高は、前期比31.5%増の5,455百万円となり、8期連続の増収

→ 連結営業利益は、化粧品事業の増益および機能性素材開発事業の寄与を主因として、前期比23.1%増の325百万円

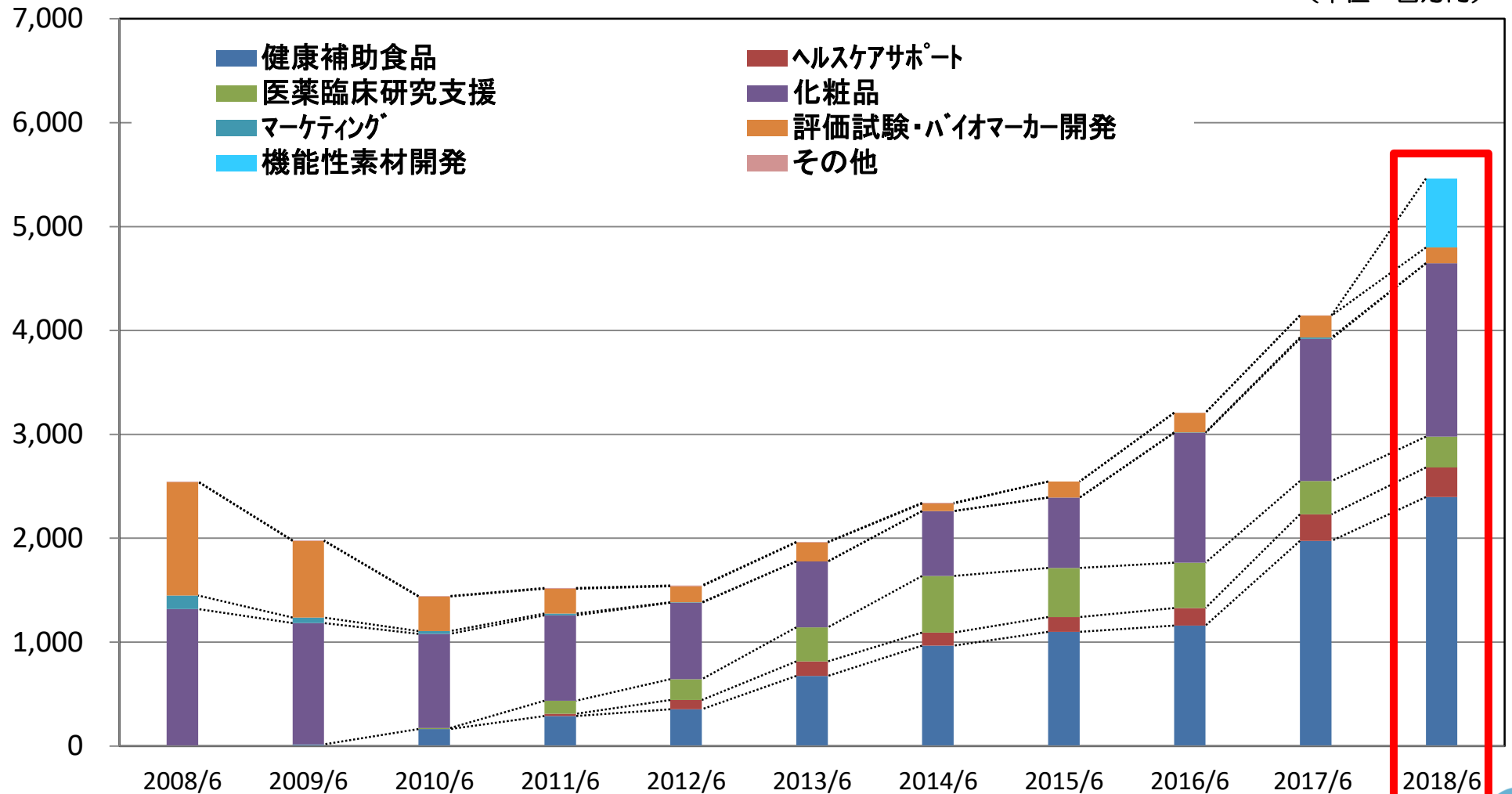
2018/6期決算の概況 Ⅲ

- 前期の復配に続き、当期は期末配当金の増配（1.00円/1株
→ 2.00円/1株）を予定。



事業別売上高推移

(単位：百万円)





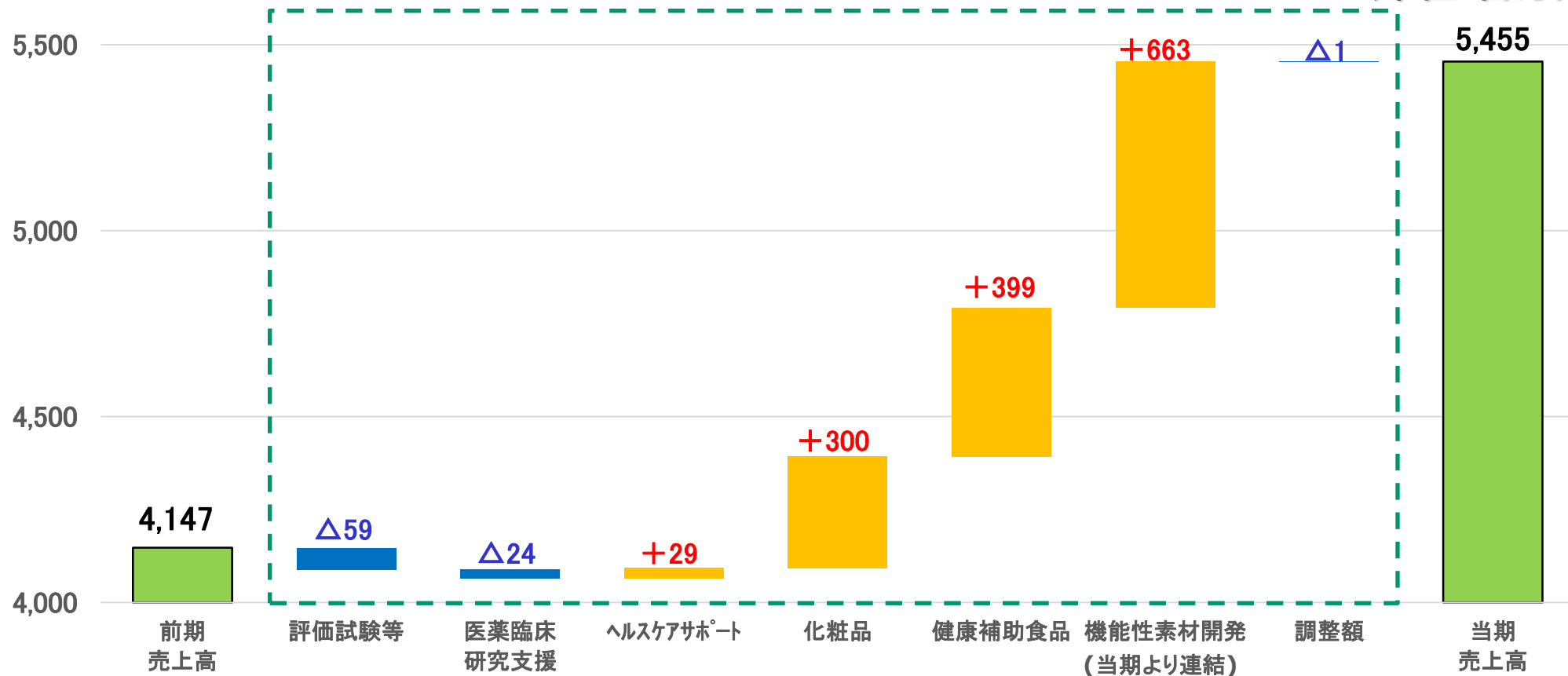
セグメント別 前期比

(単位:百万円)

	評価試験・ バイオマーカー			医薬臨床研究			ヘルスケアサポート			化粧品			健康補助食品			機能性素材開発			調整額 (全社費用等)			連結		
	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減	当期	前期	増減
売上高	152	211	△ 59	297	321	△ 24	285	257	+29	1,668	1,368	+300	2,397	1,997	+399	663	-	+663	△ 7	△ 6	△ 1	5,455	4,147	+1,308
営業費用	161	173	△ 12	300	307	△ 7	273	235	+38	1,356	1,144	+212	2,190	1,799	+391	599	-	+599	250	226	+24	5,129	3,881	+1,248
売上原価	97	113	△ 16	243	256	△ 13	199	146	+53	701	484	+217	827	695	+132	275	-	+275	△ 8	△ 7	△ 1	2,332	1,686	+647
販管費	65	60	+4	58	52	+6	74	89	△ 15	655	659	△ 4	1,363	1,104	+259	325	-	+325	258	233	+25	2,797	2,196	+601
営業利益	△ 9	38	△ 47	△ 4	13	△ 17	13	22	△ 9	312	224	+88	207	198	+8	64	-	+64	△ 256	△ 232	△ 25	325	264	+61

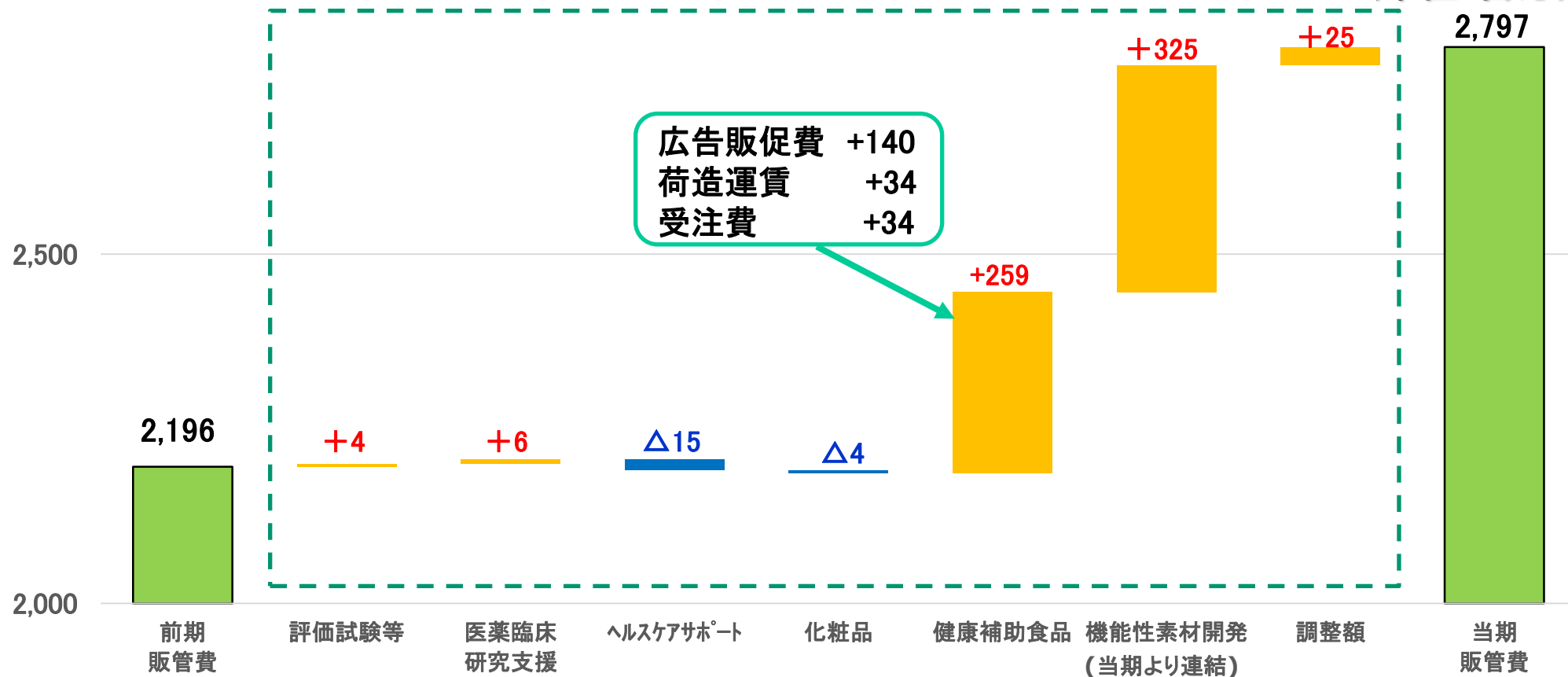
セグメント別 売上高前期比差異

(単位:百万円)



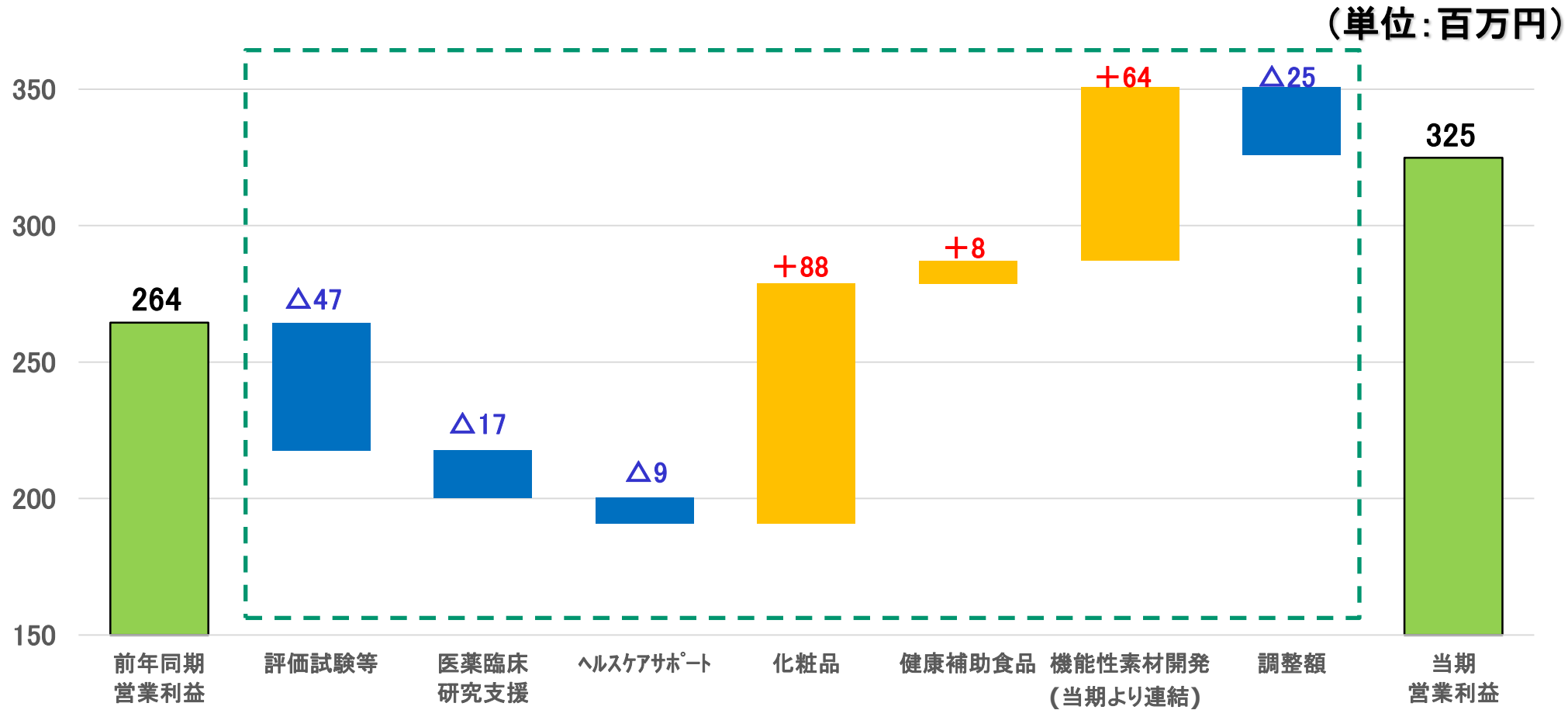
セグメント別 販管費前期比差異

(単位:百万円)





セグメント別 営業利益前期比差異





セグメント別 計画比

(単位:百万円)

	評価試験・ バイオマーカー			医薬臨床研究			ヘルスケアサポート			化粧品			健康補助食品			機能性素材開発			調整額 (全社費用等)			連結		
	実績	計画	対比	実績	計画	対比	実績	計画	対比	実績	計画	対比	実績	計画	対比	実績	計画	対比	実績	計画	対比	実績	計画	対比
売上高	152	200	△ 48	297	300	△ 3	285	260	+25	1,668	1,470	+198	2,397	2,370	+27	663	700	△ 37	△ 7	0	△ 7	5,455	5,300	+155
営業費用	161	180	△ 19	300	285	+15	273	230	+43	1,356	1,210	+146	2,190	2,120	+70	599	650	△ 51	250	225	+25	5,129	4,900	+229
売上原価	97	110	△ 13	243	240	+3	199	150	+49	701	550	+151	827	805	+22	275	330	△ 55	△ 8	0	△ 8	2,332	2,185	+147
販管費	65	70	△ 5	58	45	+13	74	80	△ 6	655	660	△ 5	1,363	1,315	+48	325	320	+5	258	225	+33	2,797	2,715	+82
営業利益	△ 9	20	△ 29	△ 4	15	△ 19	13	30	△ 17	312	260	+52	207	250	△ 43	64	50	+14	△ 256	△ 225	△ 31	325	400	△ 75

2018/6期決算（補足資料） I

【評価試験・バイオマーカー開発】

	実績	計画	対比
売上高	152	200	△ 48
営業費用	161	180	△ 19
売上原価	97	110	△ 13
販管費	65	70	△ 5
営業利益	△ 9	20	△ 29

1. 売上件数 7件（前期比△1）
※うちトクホ関連 0件、機能性表示関連 5件
2. 受注高 402百万円（前期比+108.6%）
期末受注残高 334百万円（前期末比+300.5%）

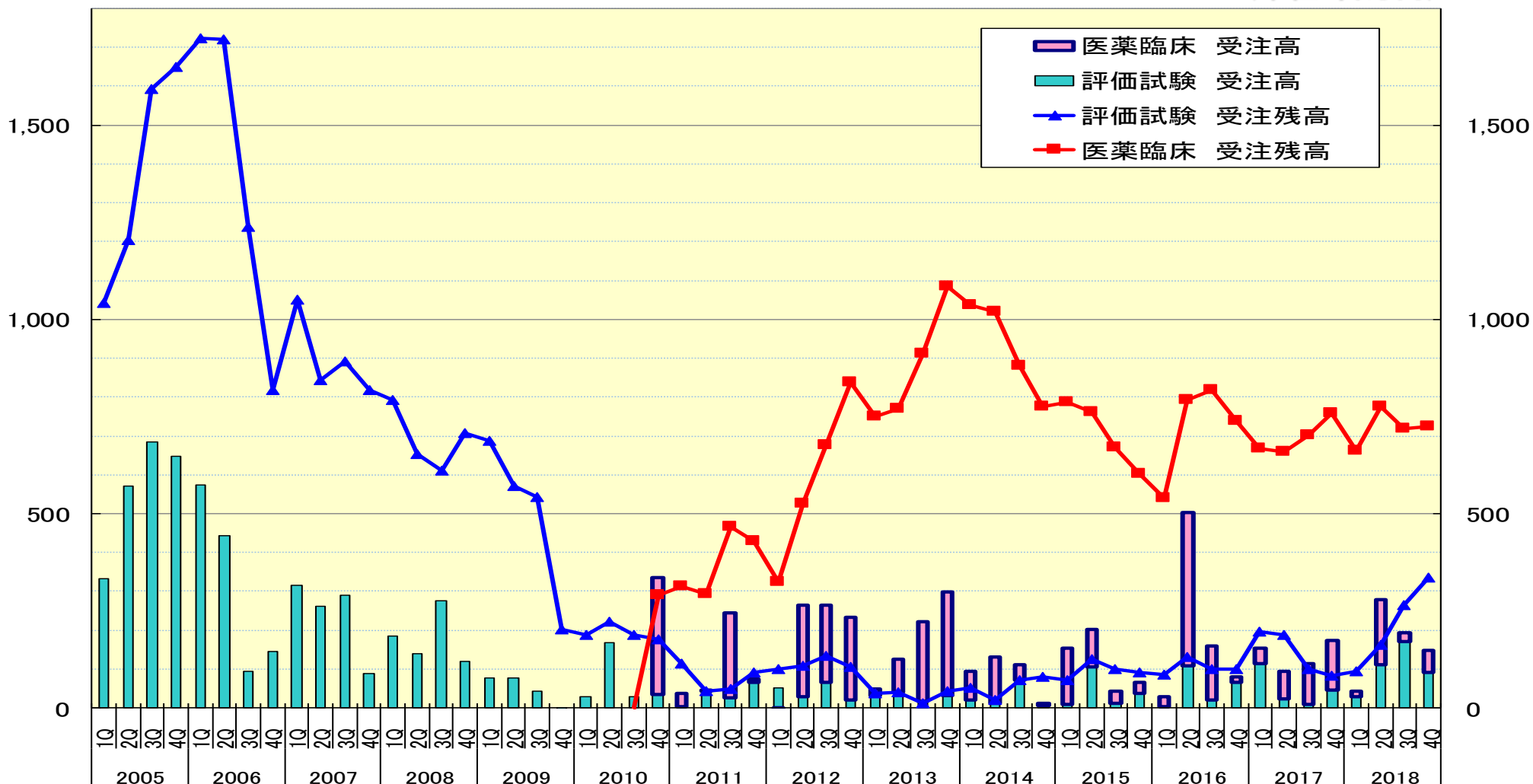
【医薬臨床研究支援】

	実績	計画	対比
売上高	297	300	△ 3
営業費用	300	285	+15
売上原価	243	240	+3
販管費	58	45	+13
営業利益	△ 4	15	△ 19

1. 売上案件数 32件（前期比+1件）。
2. 受注高 262百万円（前期比△22.4%）
期末受注残高 724百万円（前期末比△4.4%）

評価試験事業・医薬臨床研究支援事業の受注推移

(単位:百万円)



- 受注高 : 各四半期期間における合計値(各3ヶ月分)
- 受注残高 : 各期末時点における受注残高

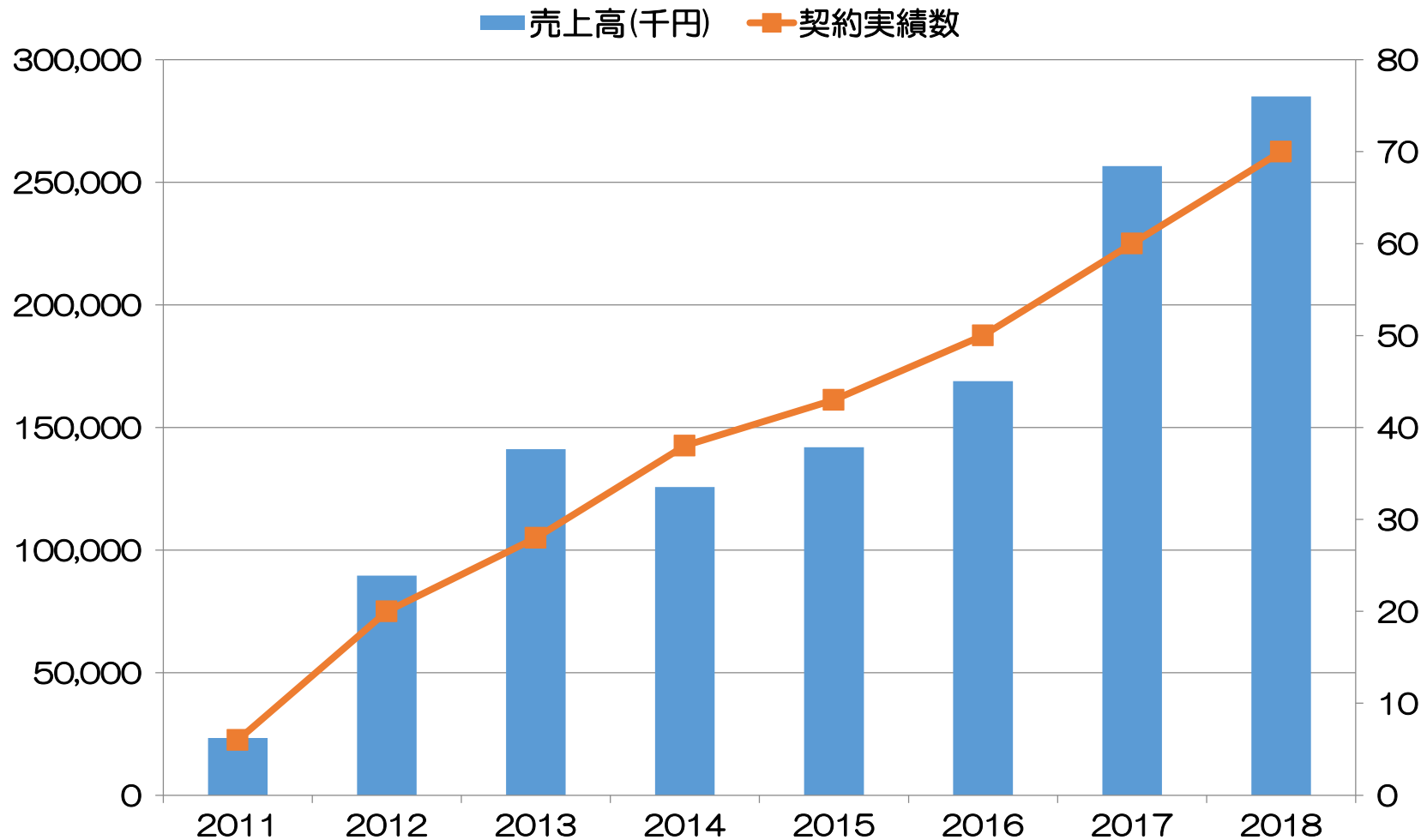
2018/6期決算（補足資料）Ⅱ

【ヘルスケアサポート】

	実績	計画	対比
売上高	285	260	+25
営業費用	273	230	+43
売上原価	199	150	+49
販管費	74	80	△ 6
営業利益	13	30	△ 17

大口受注を主因として増収となったものの、人件費の増加等により減益。

ヘルスケアサポート (売上高・契約健保数の推移)



2018/6期決算（補足資料）Ⅲ

【化粧品】

	実績	計画	対比
売上高	1,668	1,470	+198
営業費用	1,356	1,210	+146
売上原価	701	550	+151
販管費	655	660	△ 5
営業利益	312	260	+52

1. 卸売売上高 1,463百万円（前期比+30.4%）
通販売上高 205百万円（前期比△16.5%）
2. 広告販促費 208百万円
（前期比△58百万円、計画比△22百万円）
3. 一部、売上計上（出荷）が次期に期ずれ

【健康補助食品】

	実績	計画	対比
売上高	2,397	2,370	+27
営業費用	2,190	2,120	+70
売上原価	827	805	+22
販管費	1,363	1,315	+48
営業利益	207	250	△ 43

- 広告販促費 717百万円
（前期比+140百万円、計画比+17百万円）
- ※うち第4四半期（4～6月） 202百万円
（前年同期比+42百万円、計画比+62百万円）

2018/6期決算（補足資料）Ⅳ

【機能性素材開発】

	実績	計画	対比
売上高	663	700	△ 37
営業費用	599	650	△ 51
売上原価	275	330	△ 55
販管費	325	320	+5
営業利益	64	50	+14

ラクトフェリン原料の販売ならびにラクトフェリンの腸溶加工技術及び脂質代謝改善用途に関する特許提供によるライセンス収入等を売上計上。

※売上高のうちライセンス収入 221百万円

～ 2019/6期通期業績予想 ～

2019/6期通期業績予想（連結）

（単位：百万円）

	次期予想 (2019/6)	当期実績 (2018/6)	増減	増減率
売上高	6,700	5,455	+1,245	+22.8%
（評価試験事業）	(400)	(151)	(+249)	(+164.9%)
（バイオマーカー開発事業）	(0)	(0)	(0)	－
（医薬臨床研究支援事業）	(320)	(296)	(+24)	(+8.1%)
（ヘルスケアサポート事業）	(300)	(285)	(+15)	(+5.3%)
（化粧品事業）	(2,100)	(1,668)	(+432)	(+25.9%)
（健康補助食品事業）	(2,900)	(2,396)	(+504)	(+21.0%)
（機能性素材開発事業）	(680)	(655)	(+25)	(+3.8%)
（全社）	(0)	(2)	(-2)	－
売上総利益	3,645	3,122	+523	+16.8%
営業利益	600	325	+275	+84.3%
経常利益	600	340	+260	+76.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	350	197	+153	+76.8%
研究開発費	115	117	△ 2	
（内疲労関連）	(40)	(31)	(+9)	
（内化粧品）	(20)	(6)	(+14)	
（内機能性素材開発等）	(55)	(79)	(-24)	





セグメント別 当期比

(単位:百万円)

	評価試験・ バイオマーカー			医薬臨床研究			ヘルスケアサポート			化粧品			健康補助食品			機能性素材開発			調整額 (全社費用等)			連結		
	次期 予想	当期	対比	次期 予想	当期	対比	次期 予想	当期	対比	次期 予想	当期	対比	次期 予想	当期	対比	次期 予想	当期	対比	次期 予想	当期	対比	次期 予想	当期	対比
売上高	400	152	+248	320	297	+23	300	285	+15	2,100	1,668	+432	2,900	2,397	+503	680	663	+17	0	△ 7	+7	6,700	5,455	+1,245
営業費用	320	161	+159	310	300	+10	280	273	+7	1,700	1,356	+344	2,640	2,190	+450	610	599	+11	240	250	△ 10	6,100	5,129	+971
売上原価	250	97	+153	250	243	+7	205	199	+6	1,000	701	+299	1,010	827	+183	340	275	+65	0	△ 8	+8	3,055	2,332	+723
販管費	70	65	+5	60	58	+2	75	74	+1	700	655	+45	1,630	1,363	+267	270	325	△ 55	240	258	△ 18	3,045	2,797	+248
営業利益	80	△ 9	+89	10	△ 4	+14	20	13	+7	400	312	+88	260	207	+53	70	64	+6	△ 240	△ 256	+16	600	325	+275

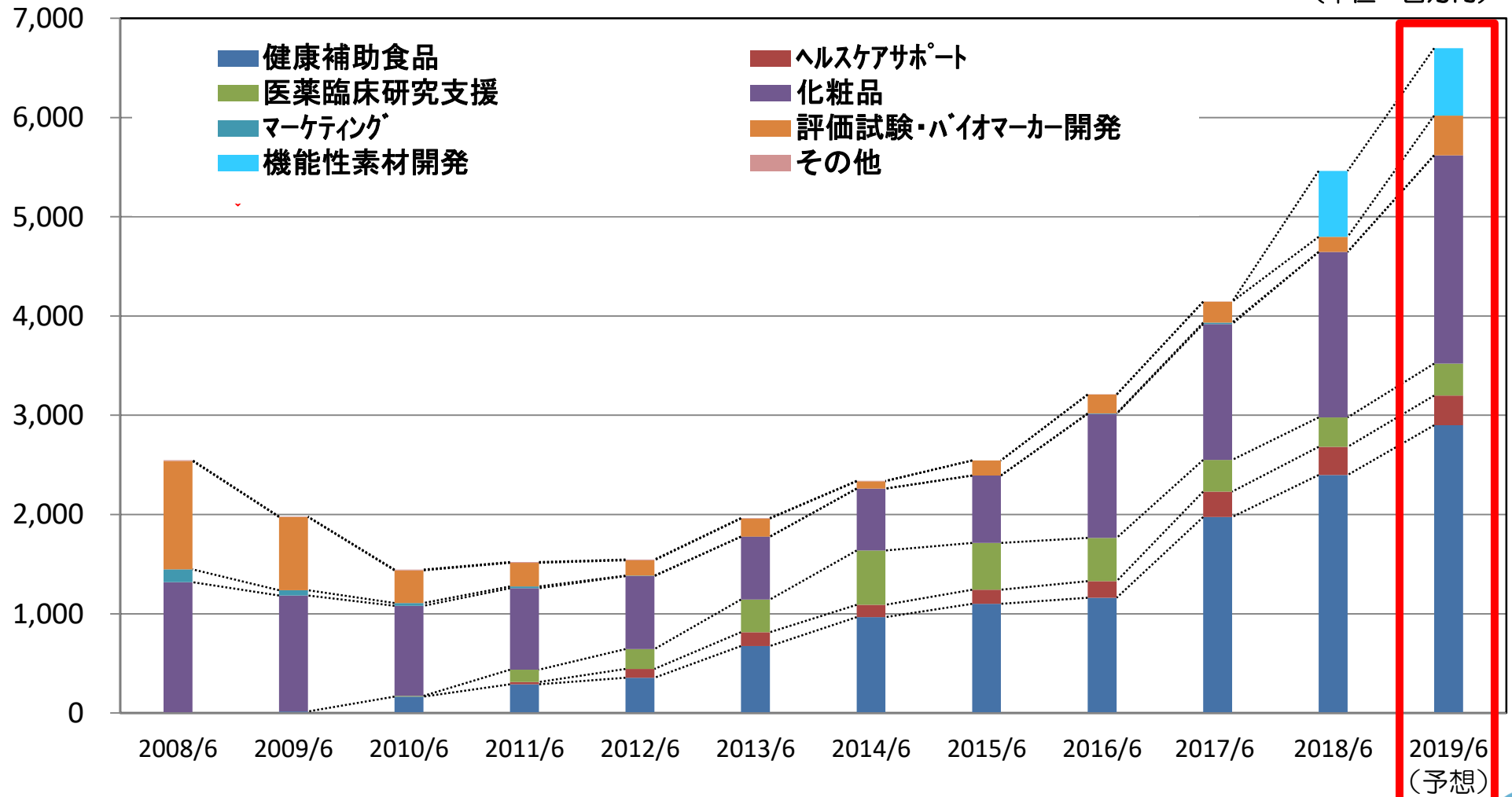
臨床評価試験の受注が増加傾向にあり、当期末の受注残高は前期末比+300.5%。
損益分岐点越により大幅に収益改善。

全事業部門が増収・増益見込



事業別売上高推移と次期予想

(単位：百万円)





～ 化粧品事業 ～

原液美容



水溶性プラセンタエキス原液 P l a c e n t a E x t r a c t

薬用ホワイトニングプラジェリープラスセット

毎日忙しく頑張る20代30代の女性に。化粧水、美容液が一本になったオールインワンジェル。
200ml 通常価格 3,700円（税抜） 2018年5月12日発売
新イメージキャラクターにモデルの藤井サチさんを起用



美白成分「プラセンタエキス」「グリチルリチン酸ジカリウム」、潤い成分「スーパーヒアルロン酸」、植物エキス配合

越境ECサイト販売網の構築と強化

中国系大手越境ECプラットフォームに当社の旗艦店をオープン、SNS口コミ強化

天猫国际
TMALL.HK

2016年11月オープン

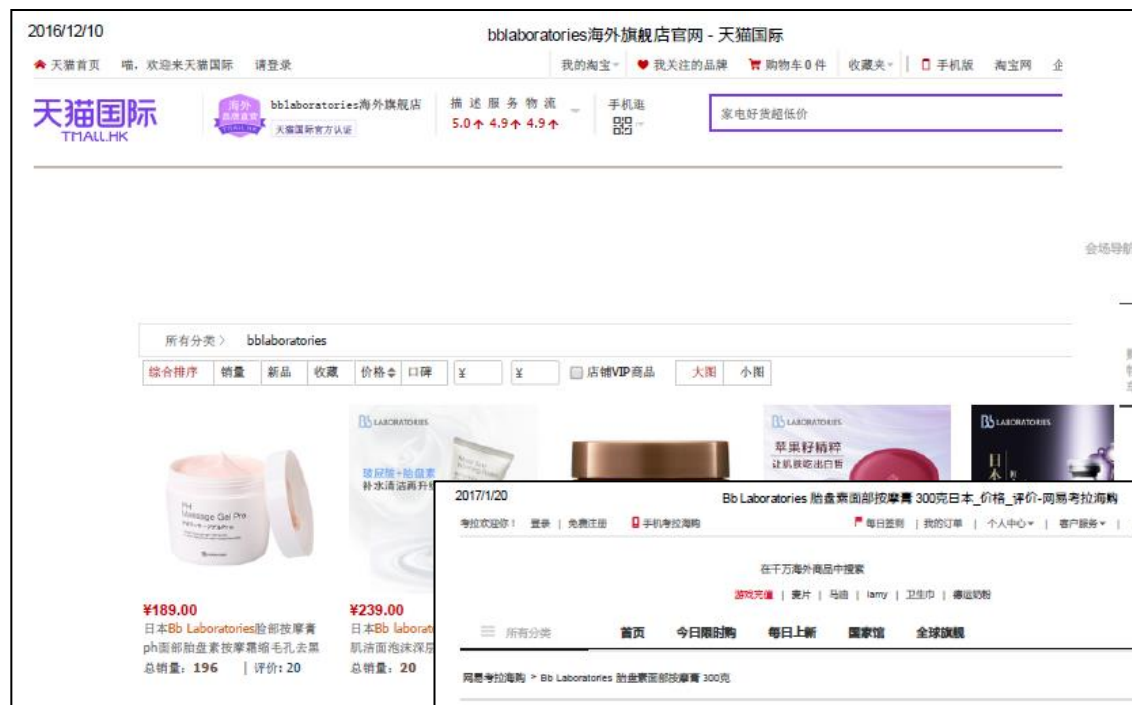
唯品会
vip.com

2017年1月オープン

小红书

找到国外的好东西

2017年1月オープン



広がる「Bb laboratories Pro.」 ブランドおよびシリーズ化と海外展開の強化



PHマッサージクリーム
Pro.EX



モイストクリーム
マスクPro.



ストレッチモイスター
シートマスクPro.



PHボディクリア
ジェルPro.



PHリフレッシュ
ローションPro.

quality
pro.
Bb laboratories



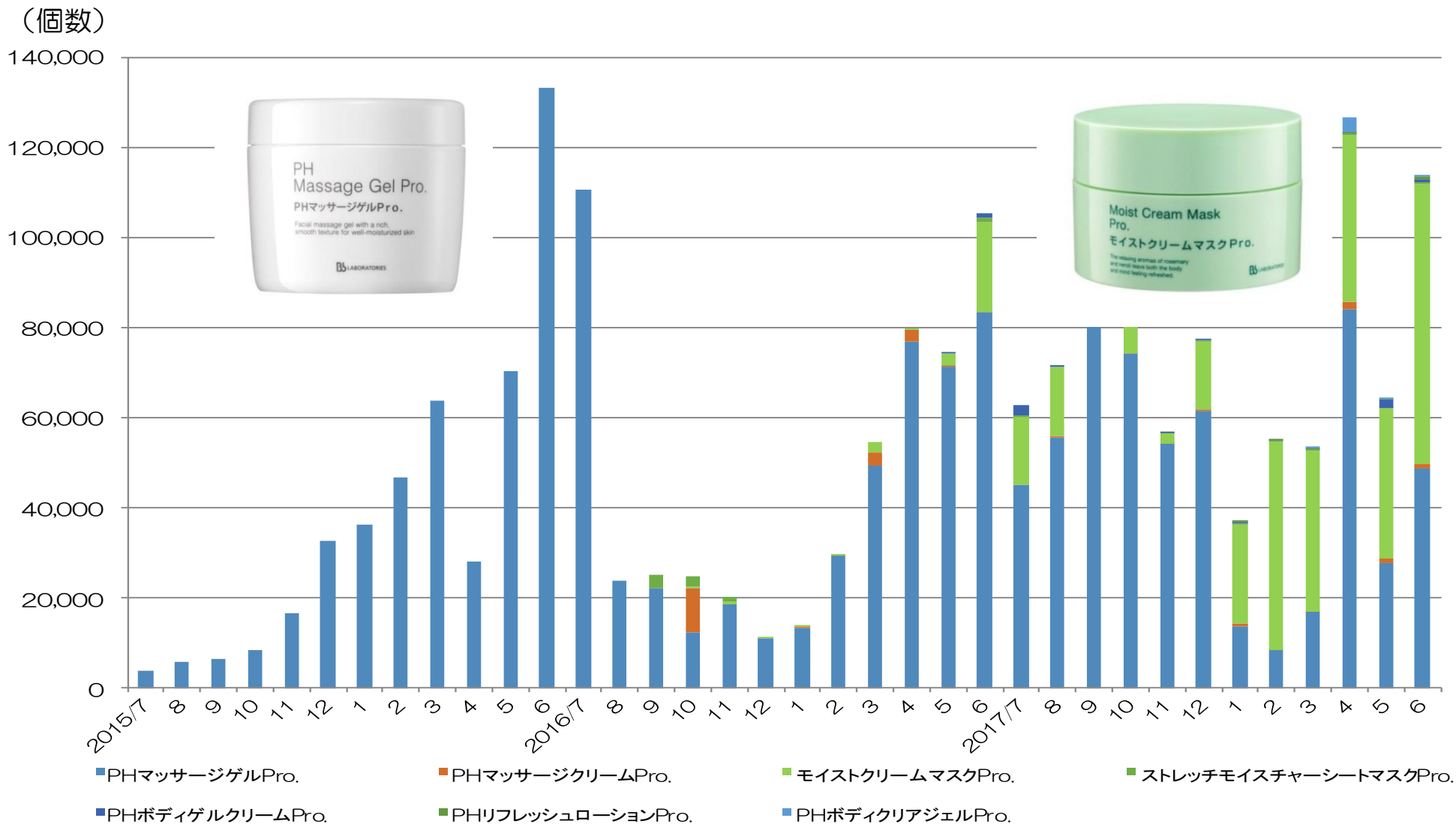
PHマッサージジェルPro.



PHボディジェル
クリームPro.

- **PHマッサージジェルPro.**のヒットを受け、当該商品のブランドおよびシリーズ化を決定。「Bb laboratories Pro.」としてブランドを立ち上げ、当該商品の派生品を順次開発・発売。
- CFDAの輸出許可取得が可能な商品より順次許可申請を行い承認され次第、中国市場への一般貿易（実店舗販売等）を開始予定。

「Bb laboratories Pro.」シリーズ売上推移



- 「PHマッサージジェルPro.」は、昨年末で累計販売個数140万個を突破。引き続き高い需要を維持。
- 「PHマッサージジェルPro.」に続くスター商品の育成を目的に「モイストクリームマスクPro.」のプロモーションを強化。次期は、「PHマッサージジェルPro.」との2トップ戦略により業績をけん引。

中国・アジア地区一般貿易（地上戦）戦略品「Bb Global Label」



プラディープリペア



スプリングモイスト



ソイレーション

中国・アジア地区一般貿易（地上戦）戦略品「Bb Global Label」

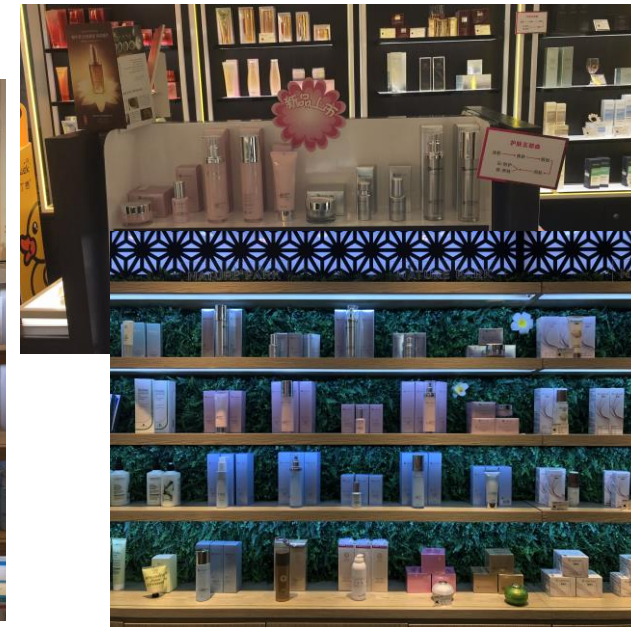
CFDA*輸出許可取得、販売スタート

(*中国国家食品薬品監督局)

(CSチャネルでの販売の一例)



(湖北康缙店)

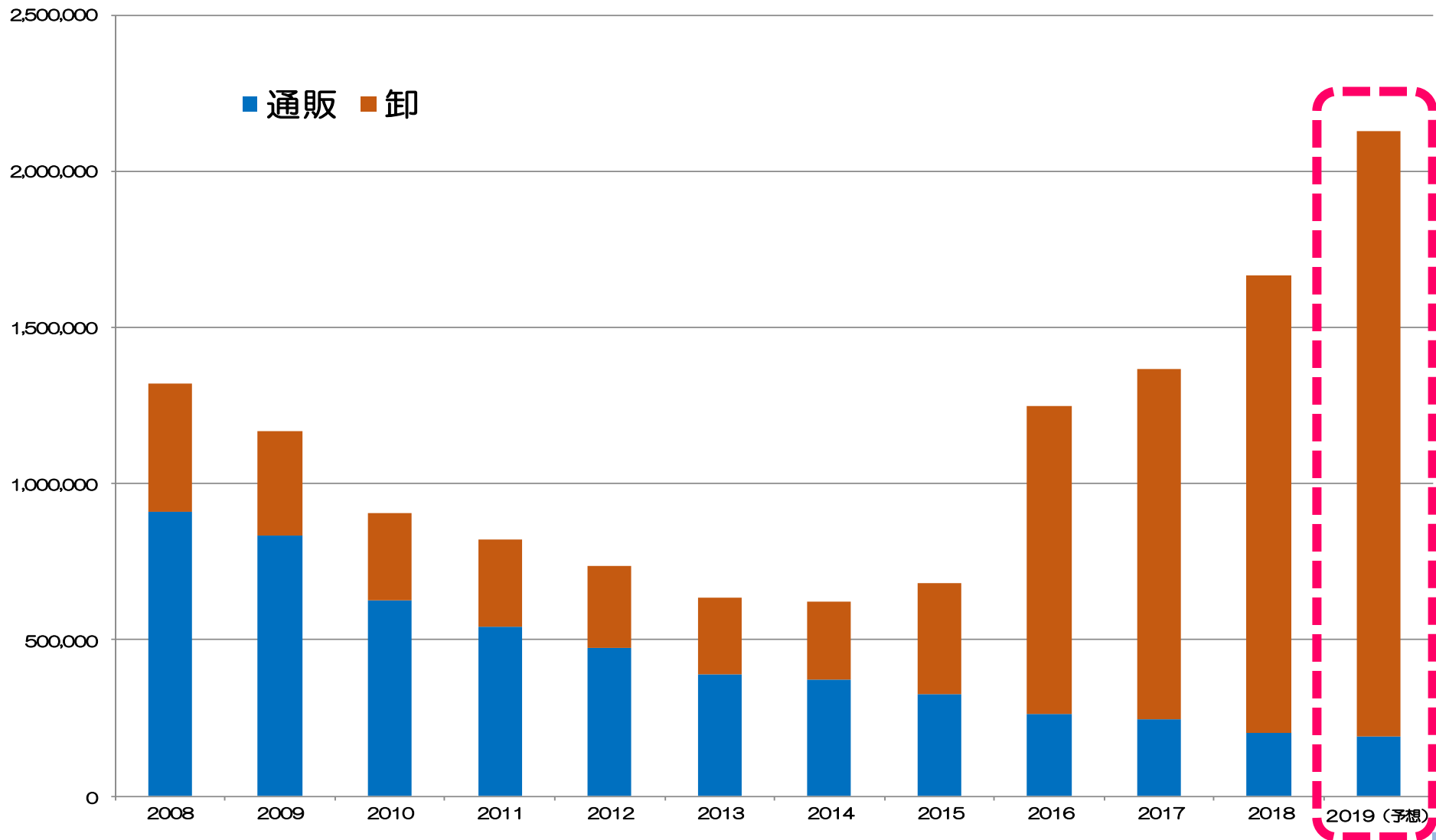


(自然装園 惠州麗日店/深圳CO店/深圳京基店)

➡ CS（化粧品専門）チャネル、百貨店、ローカルEC等を中心に販路を開拓・拡大中

販売チャネル別売上高と次期予想

(単位：千円)



2018年12月末の越境EC税制度改革の若干の不透明感から、下期は慎重な数字で織り込んだ見込。上期はダブルイレブンもあり期待増。

～ 機能性素材開発事業 ～

株式会社NRLファーマ概要

設立：1998年4月23日

本社所在地：神奈川県川崎市高津区坂戸3丁目2番1号
かながわサイエンスパーク東棟 203

代表取締役：星野 達雄

資本金：6,400万円

役員数：17名

事業内容：

- ラクトフェリン(LF)を有効成分とする健康食品・食品素材の開発、ODM事業
- ラクトフェリン原料販売ビジネス
- ラクトフェリン・アスコクロリン創薬シーズ導出



ラクトフェリンとは？

- 牛乳に含まれる赤いタンパク質(1939年発見)、鉄原子を結合する性質がある。
- 人の初乳には高濃度に含まれている。
“母親が愛児に与える生命力の源泉”
- 注目点：免疫、抗菌、骨形成、アトピー、脂質代謝、
歯周病などに作用する多機能タンパク

ラクトフェリンの応用分野

歯周病・口内炎

脂質代謝改善

ドライアイ

インフルエンザ

花粉症

脂肪肝

アトピー

ガン

エイジング

骨粗しょう症

うつ病

関節炎

鎮痛・抗ストレス

美肌・美白

ラクトフェリン

免疫調節・抗菌・
鎮痛作用等

保有知財（特許）共同研究の成果

- **ラクトフェリンの製剤特許** 4件取得
 - I. 錠剤の腸溶加工技術
 - II. ラクトフェリン複合体
 - III. 徐放性組成物
 - IV. ラクトフェリン複合体
- **ラクトフェリンの用途特許** 6件取得
 - I. 脂質代謝改善
 - II. 鎮痛
 - III. ドライアイ
 - IV. 頻尿改善
 - V. 加齢性眼疾患改善
 - VI. 月経痛緩和効果
- **アスコクロリン関係の物質特許** 2件取得

現在進めている展開分野

- ・ ヒト用サプリ（ラクトフェリン）
 - － オーラルケア（歯周病、口臭、口内炎）
 - － 産科領域（不妊・早産）
 - － 眼科領域（ドライアイ）
 - － 口コミ領域（ひざ関節炎）（サミー酵母との合剤）
- ・ 化粧品（ラクトフェリン）
 - － スキンケア
- ・ ペット用サプリ（ラクトフェリン）
 - － ネコの健康増進（リジンとの合剤）
 - － 関節（サミー酵母との合剤）
- ・ サミー（SAmE）入り酒酵母
 - － 膝関節機能の改善

NRLファーマの製品



総医研グループ参画シナジー

- ・ 受発注、物流、システム部門の統合

- 日本予防医薬に自社品の販売を委託することで、大幅なコストダウン実現
- モール等での販売ノウハウをもつ日本予防医薬に委託したことで前年比2～3倍の売上げを実現

- ・ 人事交流、営業強化

- Bbの化粧品開発担当者の出向、マーケティング開発力強化
- グループをまたいでの営業会議等により新規顧客、ラクトフェリン原料購入先の開拓を実現

- ・ 研究、素材開発

- 創薬中心の研究開発費を素材開発、臨床試験に再配分
(当期 研究開発費79百万)

～ 健康補助食品事業 ～

日本予防医薬の取扱商品一覧

■通販 イミダペプチドシリーズ■



機能性表示食品ドリンク、ソフトカプセル90粒、プレミアム錠剤、イミダペプチドQ10、うめ風味、ヨーグルト風味

■通販 その他■



水溶性還元型コエンザイムQ10、ビタミンC、ビフィズスロンガム+テアニン
マルチビタミン

あなたの疲れをなくしたい

■通販 食品以外■



緑林の香り、さくら色照明
グリーンウッドモイスチャライザー

■卸（店頭）・OEM■



アスリート、イミダペプチド240、イミダペプチドビューティ、ソフトカプセル84粒、RZ400（ゼット）

抗疲労研究成果の普及活動 書籍出版＆啓発

永岡書店



2018年1月15日発売

えい出版社



2018年4月4日発売

PHP出版



2018年5月17日発売

マガジンハウス



2018年6月15日発売

研究・科学に基づいた正しい疲労の常識、回復法を啓発活動

抗疲労研究成果の普及活動 書籍出版&啓発

番組情報

ミニ番組

『梶本教授に聞く疲労の原因と対策』



BSフジ 全13回 毎週金曜日22:55~23:00 2018年7月~9月末放送中

最新医学が解明！疲労の原因とメカニズム、その対策法について考える。

BS12 全13回 2018年4月~6月末放送終了



2018年4月~9月

ニッポン放送ラジオ 上柳昌彦あさぼらけのコーナーで番組

研究・科学に基づいた正しい疲労の常識、回復法を啓発活動

	番組名	放送日	見出し（テレビ番組内容等）
2018年	林修の今でしょ！講座（テレビ朝日）	8月7日	ムネに含まれるイミダゾールジペプチドには疲労回復効果があり夏バテ予防に効果的
	名医のTHE太鼓判！（TBS）	6月25日	レモンのクエン酸と鶏むね肉のイミダペプチドを合わせて摂ることが、疲労予防には効果的な食べ方
	最強の健康法（SBクリエイティブ）	4月26日	世界レベルの名医の「本音」を全部まとめた「ベストパフォーマンス編」
	あさいち（NHK）	4月24日	「なんとなくだるい…」を解消するには？鶏の胸肉に含まれるイミダゾールジペプチドが効果的。
	文藝春秋クリニック 80人の専門課に聞きました	3月14日	命を守る！最強の食事の一つとして「イミダペプチド」が紹介
	毎日のカラダが楽になる（大和書房）	3月21日	最高の疲労回復法の一つとして「イミダペプチド」が紹介

（雑誌・新聞）
毎日が発見、週刊女性セブン、NHKきょうの料理、THE21、日経ヘルス、MyAge、わかさ出版、bizmom、サンキュ、ゆほびか、週刊女性、FLASH、京都新聞、etc.

広告販促費

(百万円)

	2017/6期		2018/6期		2019/6期 見込	
	売上高	広告販促費	売上高	広告販促費	売上高	広告販促費
第1Q	533	263	648	322		610
第2Q	538	91	638	120		153
第3Q	438	50	509	72		85
第4Q	473	160	575	203		150
通期	1,982	564	2,370	717	2,900	998

昨今の猛暑による夏バテ対策需要の高まり、弊社疲労研究・イミダペプチドの露出増を受け、当期第4Qに広告販促費を計画比+62百万増、次期第1Qを前期比+288百万円と集中的に予算投下。より効率的にコストパフォーマンスが高い広告運用を行う。

新商品開発・ラインナップ拡充

【眼精疲労・ピント調整機能訴求】

水溶化ルテイン+クロセチン

2018年4月2日発売

60粒（1日2粒） 5,980円（税込）

水溶化ルテイン	30mg
クロセチン	12mg
ブルーベリーエキス	180mg



【商品リニューアル】

ソフトカプセル120粒 → 90粒

配合量200mgはそのままに1日4粒から3粒に
2018年7月1日発売

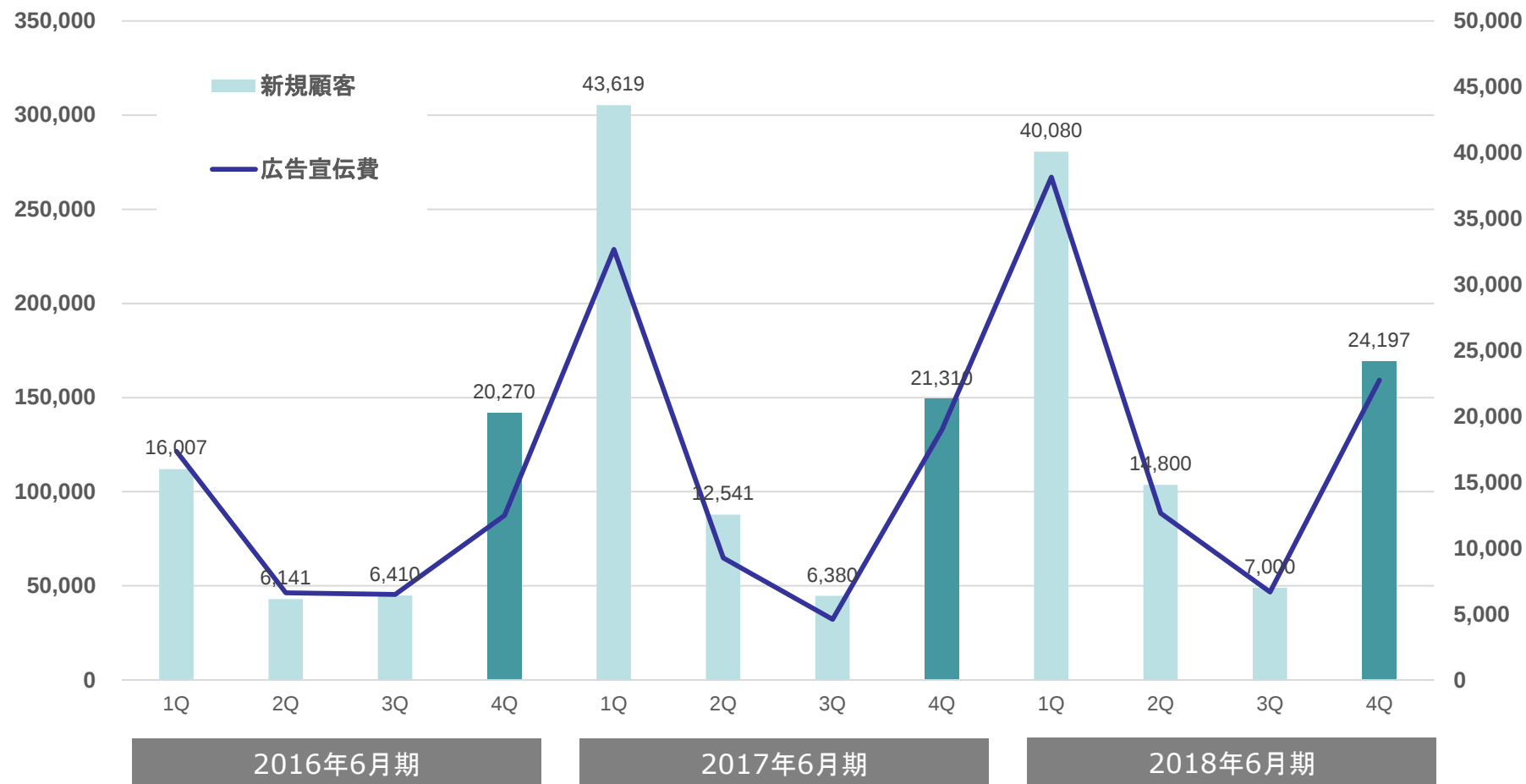
90粒 6,645円（税込）（旧製品7,500円）



(単位;千円)

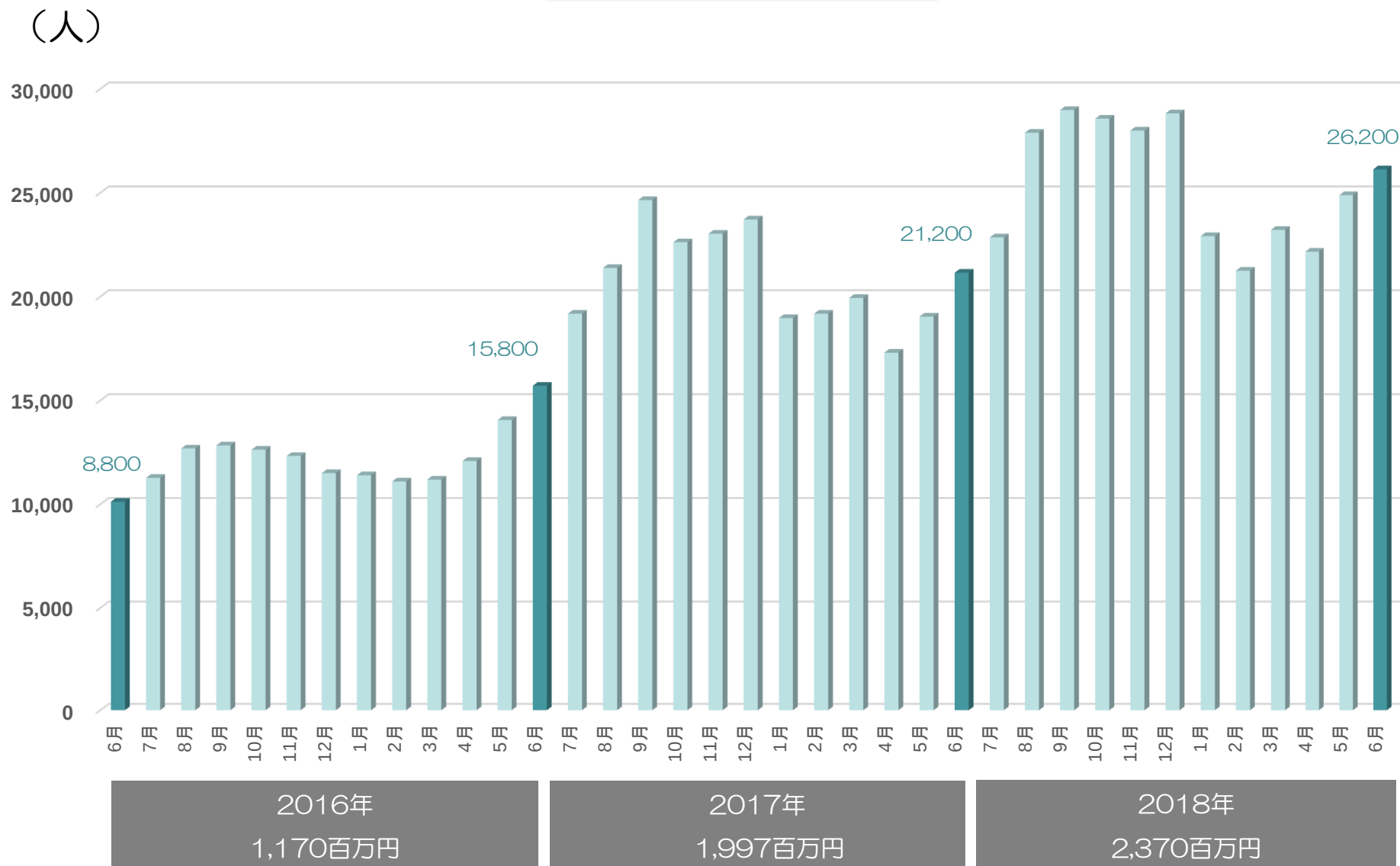
新規顧客(通販)の獲得推移

(人)



毎期、広告予算を高め投下費用を増加させているものの、獲得効率は変わらず計画線で推移。露出機会増・猛暑の傾向から4月～9月の予算投下が最も効果的。

定期顧客数の推移



2018年6月末時点で約26,200人（過去例：年間LTV60,000円）の定期顧客数
（昨年同期比 +5,000人増、+23.6%、売上見込約16億円）で推移

今後の展開

■ 商品ラインナップの拡充 ■

累計顧客38万人 クロスセル商材の開発

※当社の強み（総医研から培った知見・エビデンスをベースにした他社にない開発力）

絶対的体感・実感力による商品優位性

高濃度シトルリン＋アルギニン

2018年10月1日

コンドロイチンA＋リカバリー酵母（サミー）※

2018年10月1日

イミダペプチドスープ（中華・コーンスープ）

2018年10月1日

歯周病対策ラクトフェリン（トローチ）※

2019年1月頃

スポーツ向け商材OEM（運動パフォーマンス向上）

今期中

ペット向けイミダペプチド検討

美容ドリンクOEM（中国向）

その他複数

※NRLファーマとのコラボレーション商品

今後の展開

■ 広告・広報 ■

「イミダペプチド」の言葉の認知は高まり鶏胸肉需要に貢献しているものの、当社のイミダペプチドシリーズの商品購入には繋がりが弱い。

今後、「イミダペプチド＝日本予防医薬」と認識されるようなプロモーション展開を強化し、実際の商品購入増に繋げる。

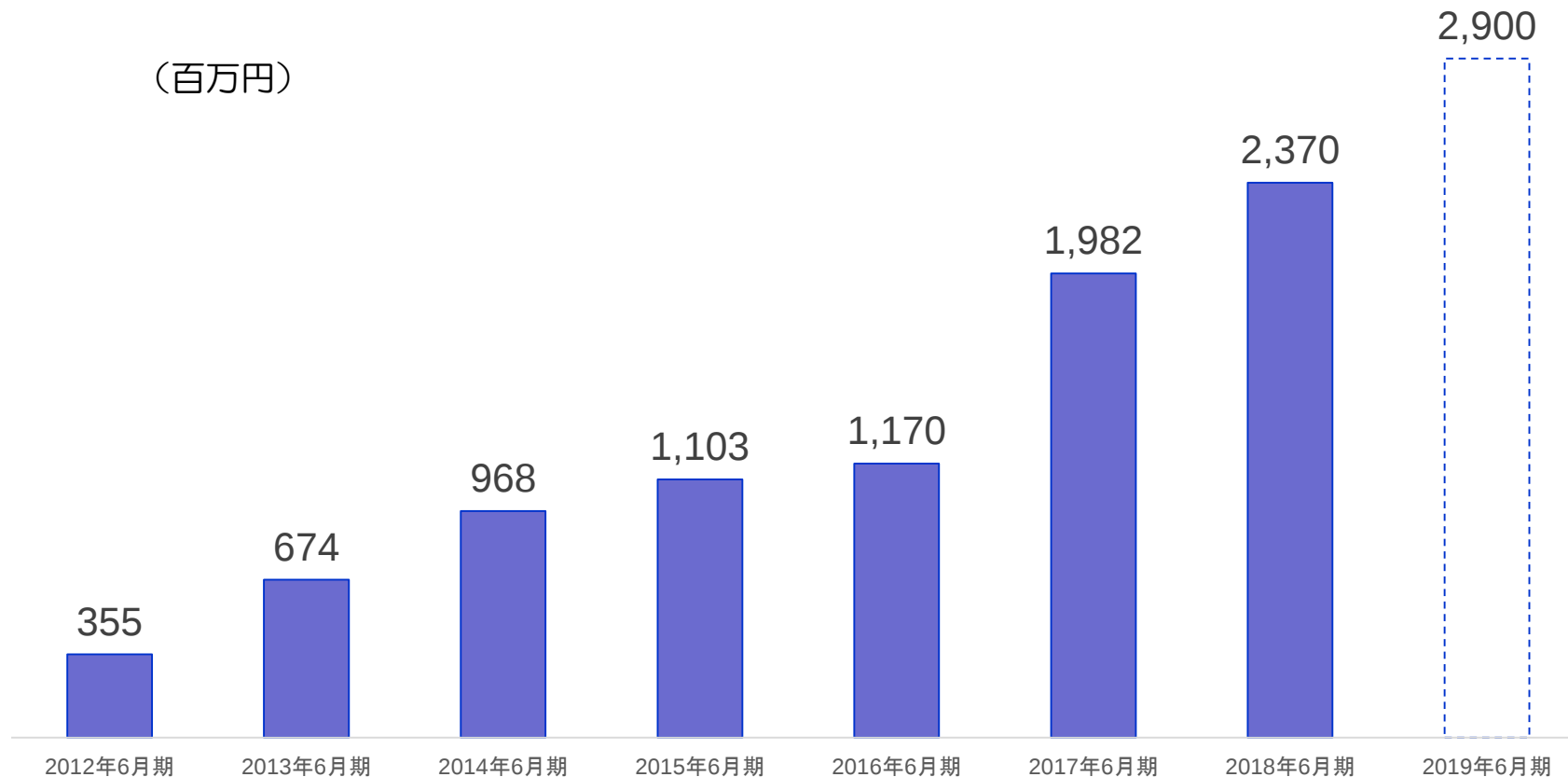
昨年、リスクを抑えた形で実施し、それほど伸びなかったTVインフォーマーシャル、SNS、折込チラシ等は、クリエイティブを刷新し、広告を強化。

引き続き当社の強みであるエビデンス情報発信・認知向上力の新書籍出版、梶本取締役の広報活動等により継続実施。



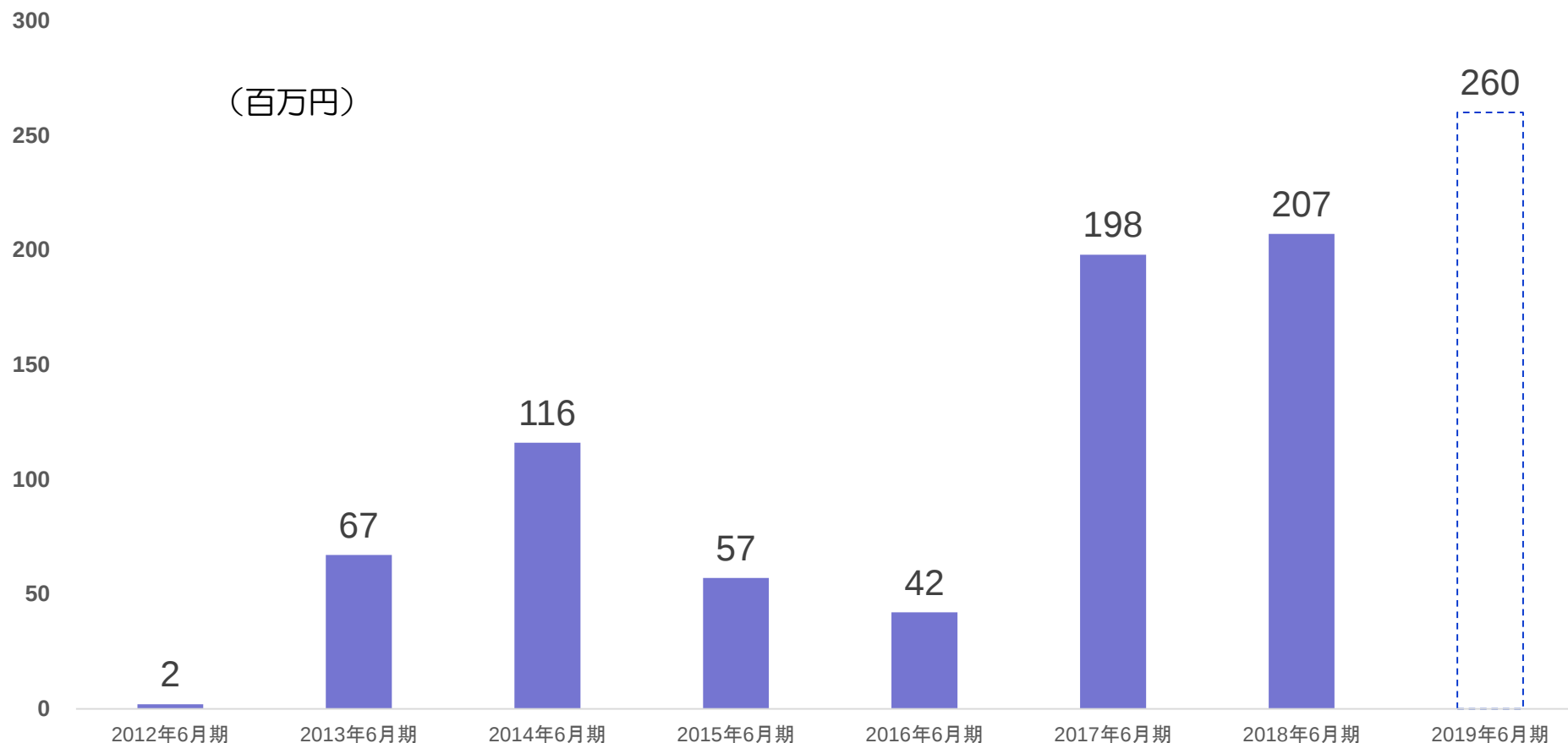
小林 旭 満 80 歳

■ 業績見込 売上高



定期顧客の高水準な維持が続いており足元の売上は堅調。
今年も猛暑の様相からドリンクの反響が高い。
リニューアル品ソフトカプセルの切替需要もあり、なお売上高拡大傾向。

■ 業績見込 営業利益



当期第4Q、次期第1Qは広告費・お試し品受注の増加のコストアップによる赤字が先行するものの第2Q以降の回収期から収益拡大。計画は必達しつつ機会に応じて追加広告費用投下を予定。

総医研グループのビジョンと戦略

総医研グループは、医療費の適正化と医療消費者の満足の実現のためエビデンス（科学的根拠）構築とそれに基づいた商品開発やサービス提供を行います。



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれています。

それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものです。

実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証したりするものではありません。

【お問い合わせ先】

株式会社総医研ホールディングス

〒560-0082

大阪府豊中市新千里東町1-4-2 千里ライフサイエンスセンター13階

取締役財務部長 田部(タナベ)

TEL 06-6871-8888 FAX 06-6871-8899

E-mail tanabe@soiken.com